

公社だより

2018
No. 135 1

I N D E X

- 年頭のご挨拶…………… 2
- 市町村等水道担当者連絡会を開催しました…… 3
- 平成29年度
中海宍道湖技術研修会を開催しました…………… 5
- 平成29年度食品製造者支援セミナーを開催しました…… 5
- 人間ドック・健診など…………… 6
- 平成29年度
市町村等保健担当者連絡会を開催しました…… 8
- Information…………… 10



「太鼓谷稲成神社」津和野町

年頭のご挨拶



理事長 小村明弘

年頭にあたり、一言ご挨拶申し上げます。皆様には、お健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

はじめに、我が国の経済動向を見ますと、長期にわたるアベノミクス効果や、米国を中心とした株高の影響により景気回復基調が続いておりますが、ご承知のとおり昨年からは北朝鮮によるミサイル発射が問題となっており先行きが不透明な状況にあります。しかしながら県内経済におきましては、昨年に引き続き企業の生産活動や個人消費、雇用情勢は緩やかに持ち直しており、景気は堅調に推移している状況であります。

一方、昨年は観光産業において島根が大いに注目される出来事がありました。1つ目はJR西日本の観光列車「瑞風」が運行開始し、沿線地域や立ち寄り先で熱烈的な歓迎行事が行われました。2つ目は島根出身の錦織良成監督の映画「たたら侍」が全国上映となり、映画の舞台となった雲南市には「たたら映画村」に県外から多くの観光客が押し寄せ話題となりました。県内の話題でもう1つ明るい出来事がありました。プロバスケットボールチームの島根スサノ

オマジックが今季B1に昇格し、全国の強豪チームと熱戦を繰り広げており、今後の躍進が期待される所です。

さて、昨年7月に起きました豪雨により、福岡県や大分県をはじめとする九州北部地方ならびに島根県内におきましても西部地方で被害が生じました。被災された方々に心からお見舞いを申し上げます。県内全域において事業を展開している私どもとしましては、被災された方がたに寄り添うとともに、当公社の使命であります公衆衛生の向上と地域社会の発展によりいっそう寄与していく所存でございます。

最後になりますが、公社を取り巻く社会情勢や毎年変化する環境に対応しつつ、今後も島根県民の健康と暮らしの安心に貢献できるよう役職員一同努めてまいりますので、変わらぬご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。本年も皆様にとって幸多き1年になりますよう祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

市町村等水道担当者連絡会を開催しました

平成29年10月19日松江市のホテル白鳥（翌20日は公社）において、「平成29年度市町村等水道担当者連絡会」を開催しました。この連絡会は公社が主催し、今年で17回目となります。各市町村の水道担当者など、延べ111名の方にご参加いただき、特別講演やシンポジウム等を、翌日には検査実習等を行いました。

平成29年10月19日 場所：**ホテル白鳥**

【特別講演】：「50年後の水道を考える」

講師：近畿大学経営学部 教授 浦上拓也氏



水道事業は重要なライフラインであり、50年後も維持しなければなりません。事業を取り巻く社会環境は、人口減少、節水の促進、ライフスタイルの多様化、施設の老朽化等と大きく変化しています。

しかし、現行の水道法は、清浄にして豊富低廉な水、また原則として市町村が経営すると掲げられているため、社会環境の変化に柔軟かつ迅速に対応できず、水道法の改正が進められています。水道事業が今後進むべき道として、広域化、官民連携について具体的に説明いただきました。

50年後も現在と同様の水道サービスを提供するために、人材の育成、適正な料金、水源の効率的な活用を考えていく必要がある点について、ご講演いただきました。

事業体毎に規模や地域特性が異なるため、画一的な取り組み方があるわけではないが、将来にわたって水道事業を維持することを考えて、今から取り組んでいく必要があります。

【シンポジウム】：「鳥取県中部地震の状況」

倉吉市水道局工務課 専門員 原田学氏をお迎えし、平成28年10月21日に発生した鳥取県中部地震の被害状況について、その時の状況からその後の対応・支援、そして体験からの課題について発表していただきました。

近隣事業体の事例を知ることが、今後の災害対策等の取り組みに繋がっていくものと思います。



【情報提供】：「検査項目の関連性と水質情報」
「水質検査セット項目について」

水質基準の中には、関連して数値が増減する項目があり、色度と相関のある項目、導電率と相関のある項目、消毒副生成物等について説明しました。

各項目の特徴を理解していただくことにより、今後の水質管理に役立てていただける情報提供となりました。



平成29年10月20日 場所：(公財) 島根県環境保健公社



【情報提供】：「水質検査方法と検査機器」

採水された水道水等をどのように検査しているか、実際の作業風景や分析機器の特徴等を写真交えて、説明しました。

また、下記選択実習の一部に採水実習を取り入れ、採水の注意点、各容器の説明、試薬を添加している目的等を実演しながら説明しました。

【選択実習】 情報提供後は事前に選択していただいたコースに別れ実習を行いました。

A「臭気検査実習・採水実習」

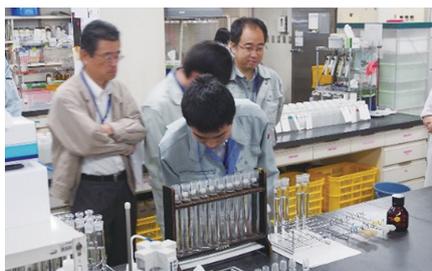
実試料の検査体験と、様々な臭気物質を嗅いでいただきました。

B「色濁検査実習・採水実習」

様々な度数の試料を目視で比較するとともに、試料の希釈や機器測定を行いました。

C「細菌検査実習」

細菌類の検査法等を説明した後、分取作業や培地の添加等を実践していただきました。



来年度も、充実した内容の連絡会を
開催したいと考えております。

中国農業技術交流団が訪問されました

平成29年10月25日（水）に島根県と中華人民共和国農業部との農業技術交流の一環として、農業部農産品質量安全センターの高副主任をはじめ、4名の方が公社を訪問されました。

検査施設を見学いただき、食品事業や食品の検査体制および試験法について意見交換を行いました。



平成29年度中海宍道湖技術研修会を開催しました。

平成29年9月29日にサンラポーむらくもにおいて平成29年度中海宍道湖技術研修会を開催しました。この研修会は、公社が主催し今年で6回目となりますが、官公庁をはじめとし、民間企業、NPOの方々など幅広い方面からご参加いただきました。

今回は島根大学大学院総合理工学研究科の三瓶 良和(さんぺい よしかず)教授をお招きし、「中海・宍道湖の黒色有機質腐泥“ヘドロ”の特徴とその地球科学的意義」というテーマでご講演いただきました。

中海と宍道湖の湖沼底質環境について活発なご議論を頂き、大変有意義な研修会となりました。

来年度以降も、技術力向上に向けた研修会を開催していきます。



平成29年度食品製造者支援セミナーを開催しました

平成29年11月28日(火)「サンラポーむらくも」において、「食品製造者支援セミナー」を3部構成で開催しました。当日は、総勢90名の方々にご参加いただき、大盛況のうちに終了することができました。

第1部 講演 『新しい食品表示基準と実務上の大切なポイント』

講師：川合 裕之（株式会社 ラベルバンク）

今年改正された「食品表示基準」について、食品製造業者の視点に立ち、表示方法を分かりやすくお話いただきました。



第2部 講演 『HACCP義務化の最新動向と認証制度の有効活用』

講師：渡邊 清孝（一般財団法人日本科学技術連盟）

現在、食品業界への普及が進められている「HACCP」について、今後の取り組みの手順などを、ポイントを絞り具体的にご説明いただきました。



第3部 情報提供 『HACCP研修のご案内』、『国際規格認証取得促進助成金のご案内』

島根県しまねブランド推進課、公益財団法人しまね産業振興財団

HACCPに関する研修や助成金についてご案内いただきました。

来年度も食品製造者支援セミナーを開催する予定です。多数のご参加をお待ちしております。

人間ドック・健診などで受けられた検査が何を意味しているかを簡単にご紹介しています。
生活習慣病にかからないためには、まず早期発見・早期治療が大切です。
是非この機会に各検査項目についてご理解いただき、もう一度結果書をご覧になってはいかがでしょうか。

眼 科

| | |
|------|--|
| 眼底検査 | 眼球の奥にある網膜を見る検査です。動脈硬化、糖尿病や早期の緑内障などによる変化を発見することができます。 |
| 眼圧検査 | 眼球の硬さを測定することで眼球の内圧の変化を調べます。 |

呼 吸 器

| | |
|----------|--|
| 胸部 X 線撮影 | 肺や心臓の状態をみます。 |
| 肺機能検査 | 空気を出し入れする換気機能のレベルを調べます。肺活量が減った場合は肺炎、増えた場合は肺気腫などが疑われます。 |

循 環 器

| | |
|--------|---|
| 血圧 | 全身に血液が送り出されるときに血管に与える圧力を血圧と言います。心臓が血液を動脈に送り出す際の「収縮期血圧」と、心臓が血液をためる際の「拡張期血圧」とがあります。血圧が高いと動脈硬化が進行しやすく、脳卒中や心臓病などの発症につながります。 |
| 安静時心電図 | 心臓から発生する電気信号を波形のグラフにしたものが心電図です。心筋梗塞、狭心症、不整脈、心臓肥大などが発見できます。 |

腎 機 能

| | |
|--------|---|
| クレアチニン | 体内から出る老廃物の一種です。腎臓の働きが低下し、尿から排出できなくなると血中に増えてきます。 |
| 尿蛋白 | 尿中に蛋白が出ているかどうか調べます。腎炎など腎臓の病気を見つける手がかりになります。 |
| 尿潜血 | 尿中に血液が出ているかどうか調べます。膀胱炎や尿路系の腫瘍の発見の手がかりになります。 |

脂 質

| | |
|-------------|--|
| 総コレステロール | コレステロールが多くなりすぎると、血管の内側にこっついて動脈硬化を引き起こし、高血圧、心筋梗塞や脳梗塞の原因となります。 |
| HDL コレステロール | 血管の内側に付着したコレステロールを肝臓に戻す作用があります。いわゆる「善玉コレステロール」です。 |
| LDL コレステロール | コレステロールを血管内に放置し、動脈硬化を引き起こす原因となります。いわゆる「悪玉コレステロール」です。 |
| 中性脂肪 | 血中で増加すると血管壁にくっつき、動脈硬化がおこります。 |

糖 尿 病

| | |
|-------|---|
| 空腹時血糖 | 空腹時の血液中の糖の濃度を調べる検査です。糖尿病では高値になります。 |
| HbA1c | 過去2～3ヶ月の血糖の状態を観察することができます。糖尿病では高値になります。 |
| 空腹時尿糖 | 尿中に糖が出ているかを調べる検査です。糖尿病発見の手がかりになります。 |



人間ドックについてのお問合せは…

公益財団法人 島根県環境保健公社 総合健診センター TEL (0852) 32-5211 まで

尿酸

尿酸とは、細胞の燃えカスでプリン体という物質からできています。肉類や果物などプリン体を多く含む食品を取りすぎると上昇します。尿酸が足の指先や膝の関節にひっかかって炎症を起こすと痛風になります。また腎臓にひっかかった場合は、炎症を起こしたり腎臓結石の原因になります。

炎症反応

| | |
|-----|---|
| CRP | 炎症や病気などで体の組織が壊れた時に血中に増えるたんぱく質です。肺炎などの感染症、慢性関節リウマチ、心筋梗塞など、様々な病気で上昇します。 |
|-----|---|

肝・胆・膵機能

| | |
|----------------------|--|
| 総蛋白 | 栄養状態、肝臓や腎臓の機能などを調べる検査です。 |
| アルブミン | 肝臓で生合成されます。アルブミン濃度が低下している場合は、肝疾患や栄養失調が考えられます。 |
| AST(GOT) ALT(GPT) | 肝臓の細胞に含まれる酵素で、肝細胞が壊れると血中に出てきますので肝疾患で上昇します。 |
| γ-GTP | 主に肝臓に含まれている酵素で、アルコール常飲者や脂肪肝などの肝疾患で上昇します。 |
| ALP | 肝臓や胆道系(胆汁の流れ道)に異常があると上昇します。 |
| 総ビリルビン | 黄疸(皮膚や目が黄色くなる症状)の有無をみる検査です。肝疾患で上昇します。 |
| Ch-E | 肝臓のみで作られる酵素で、肝硬変では血中レベルが低下します。 |
| アミラーゼ | 膵臓に障害があると血液中にアミラーゼが漏れ、数値が上昇します。唾液腺疾患でも上昇することがあります。 |

上部消化管

食道、胃、十二指腸をバリウム、もしくは胃内視鏡で調べます。がんや潰瘍、ポリープなどを発見することができます。

腹部超音波

腹部に超音波を当てて肝臓、胆嚢、胆道、脾臓、膵臓、腎臓、膀胱を検査します。肝腫瘍、肝脂肪、胆石、胆のうポリープ、膵がん、腎結石などを発見することができます。肥満の方では十分な検査ができないこともあります。

肝炎ウイルス

| | |
|----------|------------------------------|
| HBs 抗原検査 | B型肝炎ウイルスに感染しているかどうかを調べる検査です。 |
| HCV 抗体検査 | C型肝炎ウイルスに感染しているかどうかを調べる検査です。 |

便潜血検査

便中に血液が混じっているかどうかを調べます。人間のヘモグロビンにのみ反応する検査方法で行います。大腸がんの発見に有効です。

平成29年度市町村等保健担当者連絡会を開催しました

平成29年10月11日(水)に、「平成29年度市町村等保健担当者連絡会」(会場：ホテル白鳥)を開催しました。

昨年度に引き続き、各市町村並びに各保健所の保健担当者の方々に多数ご参加いただき、講演及び公社からの情報提供、意見交換を行いました。



【行政説明】

島根県健康福祉部健康推進課 がん対策推進室より「事業評価のためのチェックリスト」についてご説明をいただきました。質の高い検診を安定的に提供するために精度管理が重要であること、また精度管理を含めて行政・検診機関が整備すべき検診体制を維持するためチェックリストがあること等のご説明を頂きました。

がん対策推進室 主任技師 澄田氏にお話しいただきましたが、非常に分かりやすく丁寧なご説明で参加者の皆さまから大変好評でした。



【講演①】

独立行政法人国立病院機構 浜田医療センター 乳腺科部長 吉川和明医師より「セルフチェックを広めよう～バスタイムはバスタイム～」と題してセルフチェックの重要性についてご講演いただきました。

ご講演の前後に、乳がんモデルを使用してのセルフチェック実践を行い、入浴時にセルフチェックを行うとより分かり易くなる(連絡会当日は超音波検査用ゼリーを使用して比較)ことなどを体験していただきました。

実際に体験していただくことで、「触って調べる」よりも「つるつるにして“なでる”」方が分かり易いことが伝わったことと思います。

【講演②】

2つ目の講演として引き続き吉川和明医師に「今話題の高濃度乳房とは」と題してご講演をいただきました。

「マンモグラフィ検診の結果通知に際して、個別に（特に高濃度乳房の方に）乳房の構成を通知することは望ましいか」

このことに関して、マンモグラフィにおいて乳房の濃さによる見え方の違い、高濃度乳房とはどのようなものか等をお話しいただき、超音波併用検診とマンモグラフィ検診との比較など現状について詳しくご説明いただきました。

結論として対策型検診においては乳房の構成を通知することは時期尚早であり、今後検討が進み、対象者への対応が明示できる体制が整った上で実施されることが望ましいとのことのお話をいただきました。

高濃度乳房に関しては、著名人の乳がん罹患の話題等から注目されており、各市町村の保健担当者の方々も非常に興味のある内容であり、吉川医師のご講演はとても有意義な時間となりました。

【公社からの情報提供】

公社が平成30年度から事業開始を予定している「乳腺超音波検査」について、その内容と運用方法などをご紹介致しました。

現在公社では厚生労働省の示す指針のとおり、マンモグラフィ検査のみを実施していますが、乳腺超音波検査を併用できる体制を整え、可能な限りがんを早期発見する、あるいは検診の受診によって安心してお過ごしいただけるよう努めて参ります。

今回の連絡会では乳がんをテーマを絞って、より詳しく情報共有ができるよう開催したところ、非常に多くの保健担当者の方々にご参加いただきました。

また、初めての試みとしてランチョンセミナーのような形式で講演を行いました。参加いただきました皆さまからも好評であり盛会のうちに連絡会を終えることができました。

今後とも工夫を凝らし、県ならびに各市町村の皆さまと一緒に有意義な会を開催できるよう考えております。



Information

人間ドックのご案内

申込方法：事前に下記の連絡先にてご予約ください

実施日：月曜日～金曜日、(金曜日は健診の日もありますのでお問合せ下さい)
(受付時間 8:00～8:45)

料 金：日帰り人間ドック
35,000円(税抜)
1泊2日人間ドック
62,000円(税抜)

当センターでは鼻からの胃カメラも実施しています。



公益財団法人島根県環境保健公社 お問い合わせは

| 内容 | 窓口 | TEL・FAX |
|---------------|----------|---|
| ● 健康診断について | 健診事業推進課 | TEL0852-24-0038 FAX0852-55-4528 |
| ● 人間ドックについて | ドック事業推進課 | TEL0852-32-5211 FAX0852-32-8585 フリーダイヤル 0120-81-5211 |
| ● 環境・食品検査について | 環境事業推進課 | TEL0852-24-0207 FAX0852-55-4525 |
| ● 上記以外について | 総務課 | TEL0852-24-0013 FAX0852-24-0122 |

営業時間 8:30～17:00 (土日・祝日は除く)

おまかせください 住みよい環境 あなたの健康

私ども公社は「予防医学活動を主軸として環境保健事業を推進し、島根県民の健康の増進と福祉の向上に寄与する」の設立趣旨に沿って各種の事業に取り組んでいます

ホームページにて最新の情報を掲載しております。
下記アドレスまでアクセスしてください。
<http://www.kanhokou.or.jp/>

発行
平成30年1月1日
公益財団法人島根県環境保健公社
公社だより編集委員会
〒690-0012
島根県松江市古志原一丁目4番6号
Tel 0852-24-0013